

OECU NEWS

Osaka
Electro-Communication
University

大阪電気通信大学 学報

2018年 10月1日発行
発行：学校法人 大阪電気通信大学
〒572-8530 寝屋川市初町18-8
TEL 072-824-1131(代)
<https://www.osakac.ac.jp>

334号



第1期 2020年春 第2期 2022年春 竣工(予定)

寝屋川キャンパス

リニューアル

学園創立80周年をめざし動き出す

学園タグライン・シンボルマーク・スクールカラーを制定

特集

OPEN CAMPUS 2018

OECU Club & Circle

ハンドボール部 / 吹奏楽団

- NEWS & TOPICS
- 国際交流 / ベリーベリープロジェクト近況報告
- 受賞報告

大阪電気通信大学高等学校 NEWS

- ニュース / 生徒活動奨励者一覧
- 進路状況 / 説明会案内 / 入試概要など
- 2017年度決算報告 / 2018年度予算

学園のタグライン・シンボルマーク・スクールカラーを新たに制定

本学園では2021年に迎える学園80周年、高校70周年、大学60周年、さらにはその先を見据えた本学園運営の基本となるMV²(Mission/Value/Vision)をもとに学園としてのブランド価値を向上するため、法人・大学・高校共通の学園新タグライン・シンボルマーク・スクールカラーを制定しました。

つながり かなえる技
学校法人 大阪電気通信大学
 Osaka Electro-Communication University

つながり かなえる技
大阪電気通信大学
 Osaka Electro-Communication University

つながり かなえる技
大阪電気通信大学高等学校
 Osaka Electro-Communication University High School

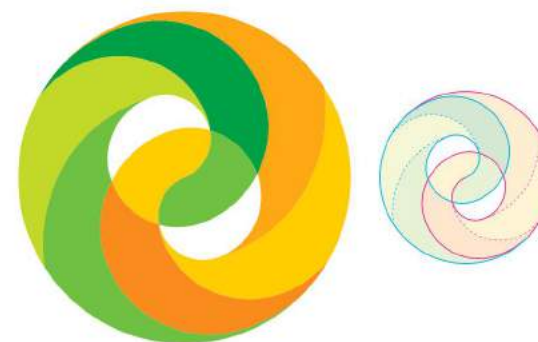
創立80周年を めざし動き出す

■タグライン

つながり かなえる技

知性、知力、知識、人の心を知る力といった「知」をもって、人と人、技術と技術をつなぐことを「つながり」と表現しています。そして技術、学術、手わざといった「技」をもって、人や社会が求めているものをつくること、自分が希望する未来を実現することを「かなえる技」と表現しています。「人間力」「技術力」に通じるこの2つの能力を身につけた学生・生徒を育てるという学園の意思が、本タグラインには込められています。

■シンボルマーク



2つの螺旋をつなげて正円をつくり、色の重なりによって渦を巻き融合するイメージを表しています。グリーンとオレンジが交わり合って一つの形を成し、学校法人大阪電気通信大学の教育の特色である「人間力」と「技術力」の融合を表現しています。同時に、教職員・学生・生徒・保護者といった人と人の融和・つながりを大切にする学園である、との意味もこのマークには込められています。

■スクールカラー(OECUグリーン)

学校法人大阪電気通信大学のブランドイメージを醸成・統一するため、スクールカラー(OECUグリーン)を定めています。OECUグリーン①をメインカラー、OECUグリーン②③をサブカラーとして運用します。

OECUグリーン①
(メインカラー)
 DIC.....F191
 PANTONE...347C
 CMYK.....90/0/100/10
 RGB.....0/142/74

OECUグリーン②
(サブカラー)

OECUグリーン③
(サブカラー)

寝屋川キャンパスが リニューアル

時代や社会の進化に合わせて、学びも変化し続けています。大阪電気通信大学は、より充実した環境で学修をサポートするため、寝屋川キャンパスの中心部に新棟を建設します。創造的な行動は心が動くことから生まれ、心は相手とのコミュニケーションによって生まれます。オープンな学びのスペースとし、コミュニケーションの流れを変え、学部学科の枠を越えて、さまざまな学生や教職員・研究者が集まり、新しい交流やこれまでにない発見を生み出して、学びの形を進化させていきます。



現在の寝屋川キャンパス

第1期 2020年春 第2期 2022年春 竣工(予定)

今秋着工し、新棟の西側半分が2020年春、東側半分が2022年春に竣工予定。この新棟と教育棟であるJ号館、そして食堂や売店などが入るZ号館をデッキでつなぎます。延床面積18,900㎡、地上3階(計画案)



OPEN CAMPUS 2018

6月17日に「授業体験型」、7月22日・8月25日に「自由参加型」のオープンキャンパスを開催しました。

寝屋川キャンパス(工学部、情報通信工学部)、四條畷キャンパス(医療福祉工学部、総合情報学部)において、学科紹介、AO入試説明、個別相談をはじめ、各学科の特徴を活かした多彩な体験・展示プログラム100種類以上を実施!学生スタッフも笑顔で受付や案内、各ブースでの説明を担当し、オープンキャンパスを盛り上げました。



2018年4月に新設・再編したゲーム&メディア学科/デジタルゲーム学科について、それぞれの特徴を活かしたプログラムを実施。その他、医療福祉工学部の医療機器体験や理学療法学科の物理療法体験など、本格的な体験プログラムを多数実施しました。

- 【医療福祉工学部】臨床工学技士をいっしょにめざそう!
- 【情報学部】小さなコンピュータでイルミネーション作り
- 【理学療法学科】物理療法を体験
- 【健康スポーツ科学部】バスケットボールの競技に参加した高校生を歓迎
- 【デジタルゲーム学科/ゲーム&メディア学科】多くの高校生が体験授業や展示に訪れ、立ち見が出るほどの人気!



建築学科誕生の経緯や建築学の魅力など「特別講演」を開催!最先端の3Dスキャナで立体造形を体験したり、ドローンを飛ばすなど、さまざまなプログラムを実施しました。

- 【電気電子工学部】学生自作の野球スコアボードの展示
- 【機械工学部】エンジンを動かして性能を調べよう!
- 【電子機械工学部】3次元CADを用いたロボットアーム設計と制御に挑戦!
- 【基礎理工学部】理系なアクセサリ作りチャレンジ
- 【環境科学部】「古いものを愛でる、大切に使う」をコンセプトに大学内の古い研究室(ラボ)や備品をリメイクし、どこか懐かしさの漂うカフェにするリノベーション活動
- 【建築学科】多数の作品を展示
- 【情報工学部】絵画的送路の作成にチャレンジ!
- 【通信工学部】光ファイバ通信体験!

個別相談・就職質問コーナー

各オープンキャンパスでは、高校生や保護者の方々の個別の疑問や悩みに対応できるように、個別相談コーナーや就職質問コーナーを設け、教職員らが説明を行いました。列ができるほど大勢の参加者が訪れ、本学への興味・関心の高さが伺えました。

大学紹介

大阪電気通信大学はどのような大学か、入試から就職までのガイダンスを行いました。本学の教育方針や4学部14学科の概要、各施設、就職・資格などをご紹介しました。非常に多くの方にお越しいただきご好評をいただきました。

建築学科 特別講演

京都工芸繊維大学 学長 森迫清貴氏
大阪電気通信大学 学長 大石利光

なぜ大阪電通大に建築学科が誕生したのか。建築学科の設置経緯をよく知る2人が、建築学の魅力や卒業後の進路について対談形式の特別講演を開催しました。



ハンドボール部は、部員24人。四條畷キャンパスの体育館で月・水曜日の17:00~21:00に活動しています。「関西学生ハンドボール連盟」に所属し、2018年度関西学生ハンドボール春季リーグで6部優勝することができ、5部に昇格しました。チームを強くするために心がけていることについて、主将の宮本大地さん(工



学部基礎理工学科3年生)は「常に全員で攻め抜き、全員で守る。このチームワークが勝利に結びつきました!」と話してくれました。

ハンドボールは、7人制(6人のコートプレーヤーとゴールキーパー)で相手チームと戦いますが、ボールのパスまわしのスピードが速い!ボールを持ってられる時間は「3秒」で、ジャンプしながらゴールする姿は大迫力です。パスやセット練習を中心に、力をつけるために日々汗を流しています。そしてお互いの弱点を確認しながらスキルを高めています。今後は、練習で積み重ねてきたチームワークと技術力を武器に、目標の「5部優勝」をめざします!

ハンドボール部からのメッセージ

初心者も経験者も大歓迎です! 部内の雰囲気はとても明るく、楽しく活動しています。みんなと一緒に強くなっていきましょう!



プログラミング教育における大阪市教育委員会との連携協定を締結

5月28日、寝屋川キャンパスにおいて、大阪市教育委員会と本学とのプログラミング教育に係る連携協定を締結しました。本協定は、大阪市の初等中等教育におけるプログラミング教育推進について、本学と大阪市教育委員会が連携して活動する協定となります。2020年度から小学校で必修になるプログラミング教育の指導教員の養成や、子どもたちが論理的に物事を考える力を養うことを目的としています。

本学は、こうした社会的動向を積極的に受け

止め、ICT(情報通信技術)を活用した社会教育に貢献する全学横断組織として「ICT社会教育センター」を設立し、地元寝屋川市・四條畷市をはじめ、茨城県教育委員会と連携協定を締結、超スマート社会(Society5.0)の到来に備えた人材育成に貢献しています。子どもたちの思考力養成に有効とされるプログラミング教育を充実させるべく、大学を軸にした地域連携を進めています。



大阪市教育委員会・大阪電気通信大学
プログラミング教育に関する連携協定式

左:鈴木さん 右:有森さん



学生がデザインした「電通大どら焼き」が決定

本学を学外の多くの方々に知っていただくため、お土産品として本学オリジナルのどら焼き(電通大どら焼き)の焼印と包装紙のデザイン案を公募し、このたび学内投票を経て決定しました。



印のデザインを包装紙に取り入れました」と話してくれました。焼印は、鈴木さんのデザインをもとに本学の3D造形先端加工センターの金属光造形複合加工機で作製されました。

また、もう一種類の包装紙をデザインし選ばれた有森伊吹さん(総合情報学部デジタルゲーム学科4年生)は「今後、学内でデザインの募集があれば、また挑戦したい」と話してくれました。

デザインした焼印と包装紙が選ばれた、鈴木祐さん(総合情報学専攻修士課程デジタルゲーム学専攻2年生)は、「大阪電気通信大学の大阪の「大」を強調するデザインを心がけ、焼

寝屋川市のマスコットキャラクターの「LINEスタンプ」完成 学生が制作!

本学が寝屋川市からの依頼を受け、学生が寝屋川市のマスコットキャラクター「はちかづきちゃん」と「ねや丸くん」のLINEスタンプ(静止画)を制作しました。寝屋川市では、5月21日から、子育て支援課LINE@にて、子育て総合支援拠点RELATTO(リラット)に関する情報発信を行っています。同施設のアピールのため、本学の学生がスタンプの考案からイラストの制作まで行いました。



LINEスタンプショップで「はちかづきちゃん」または「ねや丸くん」と検索すると、全種類ご確認いただけます。
24種類1セット120円(50コイン)
<https://line.me/S/sticker/3860183>

OECU Club & Circle 大阪電気通信大学のクラブ・サークル活動に迫る!

地域貢献のために活動している吹奏楽団。主将の澤野翔哉さん(工学部環境科学科3年生)を中心に18人のメンバーが、寝屋川キャンパスで火・木曜日の18:00~20:00、土曜日は10:00~16:00に練習に取り組んでいます。関西学生吹奏楽連盟に所属し、地元の「四條畷市音楽祭」や「寝屋川ミュージックデー」などに参加し、日ごろの練習成果を本番で発揮しています。また学内行事では、「新入生歓迎イベント」「オープンキャンパス」などで演奏を披露。そして、1年の集大成として12月2日(日)に寝屋川市立市民会館大ホールで開催される「第43回定期演奏会」をめざし日々、努力をしています。フルート、クラリネット、チューバ、ユーフォニ

アム、トロンボーン、サクソ、ドラムを担当している学生一人ひとりが「吹奏楽の魅力」について、「それぞれの楽器の特徴を生かして曲ができた時の喜びや、技術を磨いていくなかで、できなかったことができるようになった時、充実を感じます」と話してくれました。主将の澤野さんは、「吹奏楽の魅力は、部員といっしょに1つの音楽を作りあげていくことと、演奏を聴いてくださる方に喜んでいただけるのが醍醐味です」と語ってくれました。楽器が奏でる音が1つに溶け込んだ時の美しい音色は、人に感動を与えてくれます。音楽を通して、地域に大学に元気を届けてくれる吹奏楽団に今後もより一層期待します。



吹奏楽団からのメッセージ

吹奏楽団はまだまだ部員を募集しています。楽器をやりたい・やってみようという方はぜひ遊びに来てください。大学から楽器を始めている先輩たちもいるので初心者の方も大歓迎です。



名誉教授称号記授与式



8月1日、寝屋川キャンパスで名誉教授称号記授与式を行いました。今回授与された先生方の長年にわたる本学への貢献に対し、大石利光理事長・学長から感謝の言葉が述べられました。また、授与式後の昼食会では、和やかな雰囲気の中、思い出話や近況報告などを楽しむ様子が見られました。

名誉教授(敬称略)

- 坂田定久(元工学部数理科学研究センター教授)
- 岸岡 清(元工学部電子機械工学科教授)
- 西村純一(元工学部基礎理工学科教授)
- 梅尾博司(元情報通信工学部情報工学科教授)
- 村上泰司(元情報通信工学部通信工学科教授)



自由工房で車両製作!「2018 Ene-1GP SUZUKA KV-40チャレンジ」

8月5日、鈴鹿サーキットで開催された「2018 Ene-1GP SUZUKA KV-40チャレンジ」に、本学自由工房から城健斗さん(工学部電子機械工学科2年生)らを中心に6人のメンバーが出場しました。

「Ene-1GP」は、充電式単三電池40本を動力源とした次世代エネルギーカーイベントで、出場できる競技用車両は、参加者によるオリジナル車両となります。自由工房の学生が毎日汗を流しながら製作した車は、1stアタックで途中後輪のタイヤがパンクし、タイヤを交換し3rdア

タックに挑戦しましたが、残念ながら完走にいたりませんでした。城さんは「残念な結果でしたが、いろいろ勉強になりました。次に向けて気持ちを切り替えて頑張りたい」と話してくれました。



友電会主催「第41回 平成30年度 卒研室対抗ソフトボール大会」を開催

8月28日、29日、寝屋川キャンパスで友電会(同窓会組織)主催の「第41回平成30年度 卒研室対抗ソフトボール大会」を開催しました。開会式では、本大会で使用する工学部電気電子工学科の学生が実習の一環として製作した



「スコアボード」と昨年製作し改良された「ベースボールカウンター」が披露され、本大会で使用されました。スコアボードとベースボールカウンターは、友電会の依頼を受け「電気電子工学創成演習」の一環として、本学実験センターの



技術指導員の設計・指導の下で製作されたものです。

今回の大会は、職員チームも初参加し24チーム337人によるトーナメント方式で行われました。学生と教員が力を合わせ、2日間にわたる熱戦を繰り広げ、決勝戦は、共通教育機構数理科学教育研究センターの浅倉合同(浅倉史興教授)チームと情報通信工学部通信工学科の村上研究室(村上恭通教授)チームが対戦。最終回、浅倉合同の庄巻の攻めで見事優勝を果たしました。学生たちは普段の研究とは違ったチームワークを発揮し、各研究室の結束がより強いものとなりました。

「OECUサイエンス×ライフプロジェクト」
アクティブ・ラーニングの場
ベリーベリープロジェクトの
近況活動報告!



開発された炭酸飲料「ソルティラズベリー改良版」が完成



学生主体で活動している「ベリーベリープロジェクト」で開発された炭酸飲料「ソルティラズベリー改良版」が完成しました。これまでの「ソルティラズベリー」は、未開栓でも時間の経過とともに鮮やかな色を保てなくなる課題がありましたが、学生たちが研究を重ねた結果、トマト由来のリコピンを添加することで色を保つことができるようになりました。今後も学生たちのさらなる活躍が期待されます。

大阪電気通信大学の国際交流



2018年度 夏期短期留学プログラム 結団式

8月3日、国際交流センター主催の「2018年度 夏期短期留学プログラム 結団式」を寝屋川キャンパスで開催しました。今回の留学プログラムには13名の学生が参加し、夏期休暇期間を利用してプログラムに臨みます。留学先は、中国・韓国です。それぞれ現地にて、異文化体験・異文化交流などを通じてグローバルな視野を身につけることを目的としています。結団式では、学生一人ひとりが自己紹介とともに、「中国の文化を学びたい」「授業で学んだ韓国語を実際に使いたい」「現地の学生と仲良くなり交流したい」など、留学に向けての目標や決意を述べました。

受賞報告 ▶▶▶ 学生・教員・卒業生

羽瀧氏が平成30年春の叙勲で瑞宝小綬章を受賞



平成30年春の叙勲で瑞宝小綬章が発表され、本学1期生で元友電会会長の羽瀧完俊氏(工学部電子工学科1965年卒業)が受賞しました。内閣府では、春秋叙勲として年2回、国家又は公共に対し功労のある人物、社会の各分野における優れた行いのある人物などを表彰しています。瑞宝章は公務等に長年にわたり従事し、成績を挙げた方に贈られる勲章です。

基礎理工学科の学生が「MOS世界学生大会2018」日本代表選考会にて入賞

肥下友梨恵さん(工学部基礎理工学科2年生)が、MOS世界学生大会2018日本代表選考会の「大学・短期大学パワーポイント部門」で入賞しました。MOS世界学生大会は、学生を対象に「マイクロソフト オフィス スペシャルリスト(MOS)」を通して、社会人として必要なスキルを身につけ、さらに卒業後には、国際的に活躍できる人材育成を目的として開催している世界規模のパソコン大会です。MOSの資格試験に合格することで、この大会にエントリーされ、さらに日本代表になると、世界各国から選出された代表者たちと、ワードもしくはエクセル、パワーポイントの大会専用試験を受けて点数を競います。日本代表選考会は今年で16回目を迎え、日本全国から延べ6万1000人を超える学生がエントリーしました。



「マイクロソフト オフィス スペシャルリスト 大学部門賞」全国3位を受賞

この賞は、マイクロソフト オフィス スペシャルリスト(MOS)を実施する大学・短期大学の中から実施試験数上位10校を表彰するもので、本学は3位を受賞しました。7月24日、MOS試験等を実施・運営する株式会社オデッセイ コミュニケーションズ代表取締役社長 出張勝也氏より、大石利光理事長・学長へ表彰状が授与されました。本学では、1年次に入門レベルのICT(情報通信技術)関連の資格取得を推進しており、昨年度は延べ723人の学生がMOSの受験に挑戦しました。実学道場プロジェクトとして多くの学生に資格取得の有効性を呼びかけるなかで、ITパスポートやMOSといったICT関連の資格を取得した1年生の学生には、「学長奨励賞」を授与しています。

また、在学中に各種の資格取得を目指している学生のために資格試験対策講座を開講し、資格取得を手厚く強力に支援していることが、今回の受賞につながりました。



機械工学科 阿南教授が日本設計工学会「平成29年度論文賞」受賞



工学部機械工学科の阿南景子教授が、公益社団法人日本設計工学会「平成29年度論文賞」を受賞しました。この賞は、過去1年間に掲載された論文を対象とし、当該年度において顕著な成果を上げ、設計工学の分野における学術研究および教育の発展に寄与した優れた論文を顕彰することを目的として授与されるものです。

今回の受賞テーマは「テナゲートの流水方向固有振動モードの上流側水位に対する非依存症」で、せき止める水の深さが変わってもテナゲートの水中振動モードは変化しないことを確認したものです。それにより、任意の水位で計測したデータをもとに、ゲートの全ての運転条件における動的安全性を検査することが可能になりました。

健康スポーツ科学科 中井特任教授が「平成30年度 全国研究集会 実践・研究発表 奨励賞」を受賞

健康スポーツ科学科の中井聖特任教授が日本レクリエーション協会公認指導者養成課程認定校研究連絡会議の「平成30年度 全国研究集会 実践・研究発表 奨励賞」を受賞しました。

受賞テーマは「写真撮影を用いたナビゲーションスポーツのスポーツ・レクリエーションのアクティビティとしての実施可能性の検証」。中井特任教授は「今回取り上げたフォトログイニングは、グループでチェックポイントを探して写真を撮りながら地域を巡るスポーツ。参加者に十分な運動量を提供できるだけでなく、非常に楽しく、地域を知ることができ、再び参加したいと思える活動であることがわかりました。



また、グループでの助け合いや思いやり、コミュニケーションを促進させる効果がある」と述べました。



「他者を気遣う心」について

校長 廣谷 明

最近失われがちな「他者を気遣う心」について、日常の「マナー」行動から考えてみました。普通、「マナー」は「礼儀作法」と訳されます。「こういう状況ではこのように振舞うべき」と定まっている行動様式を私たちは考えてしまいます。しかし、マナーは国や民族、文化、時代、宗教のさまざまな習慣によって、形式が異なります。ある国では美德とされていることが、他の国では不快に思われることもあります。すなわち、「マナー」とは私たちが生活している国の文化や風習(習慣)をベースに「他者を気遣う」という気持ちを表す動作と考えられます。わかりやすく言えば、快く生活ができる「知恵」なのかもしれません。例えば、こんな光景に皆さんも出会うことが多いかと思えます。電車の到着を待つホームで、指定された場所に2列になって順番を待つ姿をよく見かけます。電車が到着すると、降車される人を待ってから、順に乗り込みます。時々、我先に順番を無視して、電車に乗り込む人(マナーの悪い人)もいますが多くはそうではありません。また、スマートフォン・携帯電話の使用についても、公共の場所では、多くの人はマナーモードにしているか電源を切っています。いずれにしても、パブリックマナー(公共のマナー)を私たちが大切にしているかどうかを問われています。「他者を気遣う」ことは、すなわち「相手を不快にさせない」ことなのであり、そのための「知恵」が「マナー」だと考えられます。けっして、マニュアル化してマナーの良し悪しを命令や規範でひとくくりするものではないと思います。人々の生活が人々の心温かさに支えられる心地よさを実現させるのが「マナーの心」なのです。

今、本校は大阪電気通信大学との連携を強めながら、生徒一人ひとりの「学びに向かう力」を大切に「人間力」を高める取り組みを進めており、学習目標にある「人間の生き方を学ぶ学習をしよう」は、ここで論じた「他者を気遣う心」がベースとなっています。皆さんも是非、社会のなかでのマナーについて考えてみてはいかがでしょうか。

生徒活動奨励者一覧 2018年3月卒業生

氏名	クラブ	推薦事項	出身中学
Y.Nさん	—	日本漢字能力検定2級合格	大阪市立巽中学校
N.Hさん	バレーボール部	第34回地区選抜大会東地区マネージャーに選出された	守口市立八雲中学校
H.Iさん	卓球部	平成27年度第18回大阪高等学校チャレンジカップ2位トーナメント優勝 平成29年度大阪高校選手権大会男子シングル 992名中ベスト64	門真市立第三中学校
H.Kさん	—	実用数学技能検定2級合格	枚方市立第四中学校
N.Tさん	かるた道部	第38回全国高等学校小倉百人一首かるた選手権大会D級3位	寝屋川市立第六中学校
T.Nさん	—	実用数学技能検定2級合格	大阪市立東三国中学校
S.Hさん	卓球部	平成28年度全日本卓球選手権大会大阪府予選会 1273名中ベスト64	寝屋川市立第二中学校
S.Nさん	バレーボール部	第34回地区選抜大会東地区代表選手。優秀選手として表彰された	大阪市立鯉江中学校
Y.Nさん	バレーボール部	第34回地区選抜大会東地区代表選手。優秀選手として表彰された	守口市立梶中学校
K.Hさん	卓球部	平成27年度第18回大阪高等学校チャレンジカップ2位トーナメント優勝 平成28年度全日本卓球選手権大会大阪府予選会 1273名中ベスト64 平成27年度第2回全国選抜協賛大会大阪府予選ベスト8	門真市立第二中学校
K.Yさん	卓球部	平成27年度第18回大阪高等学校チャレンジカップ2位トーナメント優勝 平成28年度選抜交流大会出場(大阪選抜チーム) 平成28年度全日本卓球選手権大会大阪府予選会 1273名中ベスト32 平成29年度 大阪高校選手権大会男子シングル992名中ベスト64	寝屋川市立中木田中学校
M.Aさん	メカトロニクス部	情報技術検定1級合格 ロボカップジュニア2016関西ブロック大会3位 全国大会出場決定 ロボカップジュニアジャパンオープン2017ぎふ・中津川大会 中津川市教育長賞 実用数学技能検定2級合格	大阪市立西中学校
S.Iさん	—	実用英語技能検定2級合格	大阪市立横堤中学校
K.Oさん	メカトロニクス部	ロボカップジュニア2016関西ブロック大会3位 全国大会出場決定 ロボカップジュニアジャパンオープン2017ぎふ・中津川大会 中津川市教育長賞 実用数学技能検定2級合格 実用英語技能検定2級合格	大阪市立桜宮中学校
M.Sさん	—	情報技術検定1級合格	八尾市立南高安中学校
K.Sさん	メカトロニクス部	大阪府学生科学賞 佳作	枚方市立楠葉西中学校
T.Tさん	—	実用英語技能検定2級合格	寝屋川市立第一中学校
S.Nさん	メカトロニクス部	ロボカップジュニア2016関西ブロック大会3位 全国大会出場決定 ロボカップジュニアジャパンオープン2017ぎふ・中津川大会 中津川市教育長賞	交野市立第四中学校
N.Hさん	情報処理部	情報技術検定1級合格 東京ゲームショウ出展 第7回立命館大学全国高校・大学ソフトウェア創作コンテスト U18優秀賞 実用数学技能検定2級合格 実用英語技能検定2級合格	枚方市立第四中学校
Y.Hさん	—	情報技術検定1級合格 実用英語技能検定2級合格	大阪市立東住吉中学校
R.Mさん	—	情報技術検定1級合格	吹田市立豊津中学校
S.Mさん	—	情報技術検定1級合格	枚方市立第二中学校
K.Yさん	—	日本漢字能力検定2級合格	堺市立金岡北中学校
K.Yさん	メカトロニクス部	大阪府学生科学賞 佳作 実用数学技能検定2級合格	枚方市立第四中学校
M.Hさん	卓球部	平成27年度第18回大阪高等学校チャレンジカップ2位トーナメント優勝	門真市立門真はすはな中学校
T.Sさん	囲碁将棋部	第41回大阪府中・高等学校将棋選手権大会優勝(団体)	枚方市立東香里中学校



硬式野球部

「第100回全国高等学校野球選手権大会北大阪大会」でベスト16の快挙

バドミントン部

全国高等学校総合体育大会大阪府予選男子ダブルスⅡ部で優勝!



バドミントン部の長谷謙太郎さん(進学コース3年生)・山田凌平さん(医療電子コース3年生)ペアが

「2018年度全国高等学校総合体育大会大阪府予選 男子ダブルスⅡ部」で優勝しました。およそ400組が出場し、初戦から9回戦行われ、順調に勝ち進み優勝することができました。これまでベスト4やベスト8に残ることはありましたが今回の優勝は史上初めての快挙です。長谷さん・山田さんペアは普段から自分たちで練習メニューを考え、自立して取り組めるペアだったことが、結果に繋がったと思います。今後、チーム力をさらに強化し、団体戦・個人戦ともにより良い成績を残せるよう頑張ります。

卓球部

全日本卓球選手権大会大阪府予選ジュニアの部2次予選に5人が出場



写真部

「第42回全国高等学校総合文化祭」に参加

8月8日から10日まで長野県松本市を中心に開催された「第42回全国高等学校総合文化祭」に2,3年生の2人が参加しました。

この文化祭は大阪府から10点の枠があり、府下の予選300点近くの中から選ばれ参加となります。全国大会の参加は、今年で3回目

この夏、「第100回全国高等学校野球選手権大会北大阪大会」で、硬式野球部が創部初の4回戦に進出し、北大阪大会ベスト16という成績を残しました。

この夏で引退する3年生は、昨年秋の工業大会優勝とともに、新たな実績を残しました。今後もより高みをめざし頑張っていきます。



今大会の戦績	対戦相手	スコア	結果	備考
1回戦	vs. 枚方なぎさ高校	5-3	○	
2回戦	vs. 都島工業高校	11-2	○	(7回コールド)
3回戦	vs. 守口東高校	10-2	○	(7回コールド)
4回戦	vs. 履正社高校	0-10	●	(5回コールド)

柔道部

「第73回大阪高等学校総合体育大会」「大阪私学柔道大会」で3位!

電通高校柔道部の井上光希さん(健康スポーツコース3年生)が「第73回大阪高等学校総合体育大会」柔道の部+100kg級で第3位に入賞し、また「大阪私学柔道大会」でも+100kg級で第3位に入賞しました。両大会とも大阪の上位高校が参加する中、接戦のものにし、準決勝まで勝ち上がりました。井上さんは、1,2年生の時ほとんど試合で初戦敗退でしたが、地道に自分の得意な技を磨き、厳しい練習に耐えながら強い精神力を身につけ今大会の結果につながりました。これからは、後輩たちが井

上さんの姿を見て奮起し近畿大会、全国大会出場を目標に努力し頑張っていきます。



大阪府の高校2年生以下が出場できる全日本卓球選手権大会大阪府予選ジュニアの部に本校から14人が出場しました。大阪府の代表9人を決定するシングルのトーナメントの大会で、1344人のうちベスト32に入った選手が2次予選に出場できます。本校からはシードも含めて5人が出場しました。

また、選抜開催記念卓球大会で

は準優勝に輝きました。各校3チームまで出場できる大阪府の大会で173チームが参加し、本校からは3チームが出場。そのうち2チームはベスト8に入り、さらに勝ち続けて準優勝という結果となりました。秋に行われる近畿大会出場をかけた総合体育大会にむけて、日々努力しています。

を通して輪を広げることができました。普段撮影している大阪や京都と異なる松本市内の撮影を通して気持ちも新たに変わりました。来年度も新たな繋がりが持てるよう、今後も撮影活動に励みたいと思います。

進路実績と今後の展開

進路指導部長 辻村 繁

上昇傾向にある景気は、昨年度の本校の進路状況にも大きな影響を与えました。

昨年度の本校の進路状況は下記の円グラフが示す通りです。4年制大学については、併設大

学の大阪電気通信大学に66人、他大学に90人の合計156人(普通科66人、電子工業科90人)の生徒が進学しました。大阪電気通信大学進学者のうち特別入試で進学した生徒は58人(指定校12人、連携コース46人)で、大阪電気通信大学進学者の87.8%、理系進学者の61%の生徒がこの制度を利用して進学しました。

また、企業の新卒採用の高まりを受け、全国的に文系に人気が集まり「文高理低」現象が継続するなか、本校でも他大学進学者数の54.4%にあたる49人の生徒が文系学部に進学しました。特に、普通科の生徒の文系進学者数は39人で、普通科進学者数の59%を占めることになりました。

昨年度同様、「大学で何を学んできたか」、「大学でどのような力を身につけたか」が問われるなか、「多様な経験」の選択幅が広い文系学部に進学する傾向が強かったと思われます。

専門学校には31人の生徒が進学しました。医療・工業系の人気は変わりませんが、普通科では理美容等の衛生系や会計・法律等の商業

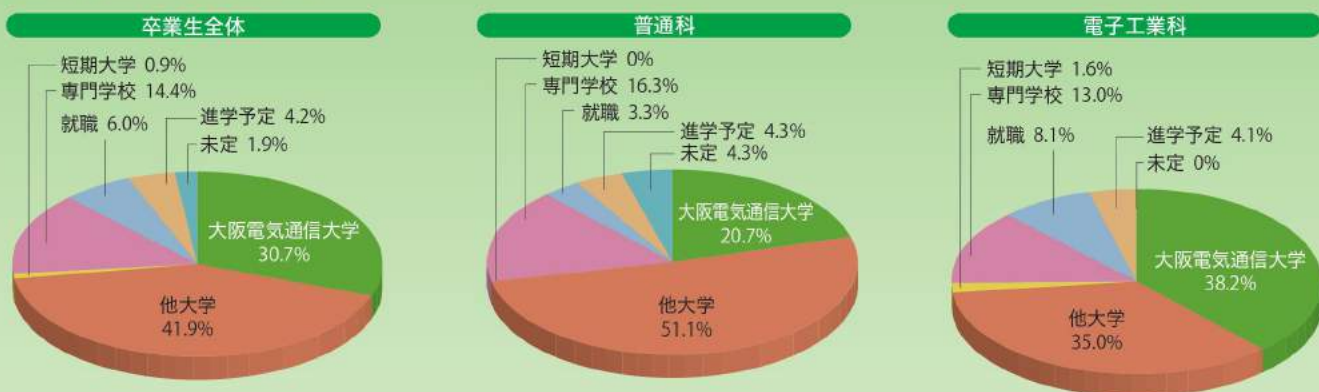
事務系への進学が目立ちました。

就職においては、学校紹介を希望する10人全員が内定を頂きました。昨年度も多くの職種の求人頂きましたが、一番人気はやはり製造でした。また、販売や介護というコミュニケーション能力を必要とされる職種を選択する生徒が出たことは特筆に値します。

今年度も進路指導部では、「生徒一人ひとりが自分自身と向き合い、自己の理解・発見を通して、将来を見据えた進路選択ができる力を育成する」という目的を達成するために、学年をはじめとする学内や学外のあらゆる関係機関と意思の疎通を図ることが重要な課題と考えています。

今春の卒業生進路

2018年3月卒業生 進路状況



大学・学部別 合格数・進学数 合計

大学・短大	学部名	普通科		電子工業科		合計
		合格数	進学数	合格数	進学数	
大阪電気通信大学	医療福祉工学部	4	4	12	8	85 66
	工学部	12	11	21	16	
	情報通信工学部	3	3	12	5	
	総合情報学部	1	1	20	18	
大阪市立大学	工学部			1	1	1 1
豊橋技術科学大学	工学部			1	1	1 1
高知工科大学	システム工学部			1	1	1 1
関西大学	システム理工学部			2	2	
同志社大学	理工学部			1	1	1 1
立命館大学	情報理工学部			2	1	3 2
京都産業大学	理工学部			1	1	3 1
近畿大学	経営学部	1	1			10 5
	法学部	1	1			
	理工学部	2	2	6	1	
龍谷大学	理工学部	1	1	2	1	3 2
大阪歯科大学	医療保健学部			1	1	1 1
関西外国語大学	英語国際学部			1	1	1 1
大阪工業大学	ロボティクス&デザイン工学部			3	1	21 10
	工学部			9	4	
	情報科学部			9	5	
摂南大学	外国語学部	1	1			15 9
	看護学部			1	1	
	経営学部	3	3			
大阪行岡医療大学	理工学部	1	1	9	3	2 2
	医療学部	1	1	1	1	
追手門学院大学	保健医療学部			1	1	15 14
	経営学部	3	3	1	1	
	経済学部	6	6			
	国際教養学部	1	1	2	1	
愛知工業大学	社会学部	2	2			1 1
	情報科学部			1	1	
福井工業大学	工学部			1	1	
広島国際大学	総合リハビリテーション学部			1	1	2 2
	保健医療学部	1	1			

大学・短大	学部名	普通科	電子工業科	合計	
		合格数	進学数	合格数	進学数
大阪国際大学	経営経済学部	6	6		
	国際教養学部			1	1
大阪産業大学	経済学部	1	1		
	工学部			1	1
大阪人間科学大学	人間科学部	2	1	2	2
	人間科学部	2	2		
大阪商業大学	経済学部	1			
	教育学部	1	1		
大阪経済法科大学	法学部	1	1		
	人文学部	1	1	1	2
京都芸術大学	芸術学部			2	2
	芸術工学部			1	1
神戸芸術工科大学	総合文化学部			1	1
	総合文化学部			1	1
四天王寺大学	リハビリテーション学部	1	1		
	人文社会学部	1	1		
羽衣国際大学	現代社会学部	1	1		
	経営情報学部			1	1
阪南大学	芸術学部	1	1		
	経営情報学部			1	1
京都精華大学	芸術学部	1	1		
	経済経営学部			1	1
奈良学園大学	人間教育学部	1	1		
	工学部			1	1
東京都市大学	工学部			1	1
	人間福祉学部	1	1		
田園調布学園大学	人間福祉学部			1	1
	人間福祉学部			1	1
四年制大学 計		70	66	138	90
関西外国語大学	短期大学部			2	2
	短期大学部			2	2
短期大学 計				2	2
合計		70	66	140	92

学部・学科別	大学・短大	合格数	進学数	卒業予定数
普通科		70	66	92
電子工業科		140	92	123
合計		210	158	215

主要大学合格者の出身中学校

進学大学名	出身中学校名	人数
大阪市立大学	大阪市立東住吉中学校	1
豊橋技術科学大学	大阪市立西中学校	1
高知工科大学	堺市立金岡北中学校	1
同志社大学	枚方市立第二中学校	1
立命館大学	吹田市立南千里中学校	2
	枚方市立第四中学校	
京都産業大学	枚方市立第二中学校	1
	枚方市立第四中学校	
近畿大学	大阪市立城陽中学校	5
	枚方市立第四中学校	
	枚方市立楠葉中学校	
	門真市立第二中学校	
	門真市立第三中学校	
龍谷大学	交野市立第二中学校	2
	守口市立大久保中学校	
追手門学院大学	寝屋川市立第一中学校	14
	寝屋川市立第二中学校	
	寝屋川市立第六中学校	
	寝屋川市立中木田中学校	
	寝屋川市立友呂岐中学校	
	大阪市立今津中学校	
	大阪市立文の里中学校	
	大阪市立緑中学校	
	大東市立住道中学校	
	宝塚市立光が丘中学校	
	枚方市立第三中学校	
	枚方市立長尾西中学校	
	枚方市立楠葉中学校	
	門真市立第三中学校	
交野市立第四中学校		
大阪工業大学	吹田市立豊津中学校	10
	大阪市立阿倍野中学校	
	大阪市立加賀屋中学校	
	大阪市立桜宮中学校	
	大阪市立相生中学校	
	大東市立谷川中学校	
	東大阪市立英田中学校	
	枚方市立楠葉西中学校	
	枚方市立招提中学校	
	枚方市立長尾中学校	
関西外国語大学	枚方市立長尾西中学校	3
	枚方市立長尾西中学校	
	守口市立梶中学校	
摂南大学	守口市立第一中学校	9
	寝屋川市立第二中学校	
	吹田市立千里丘中学校	
	大阪市立横堤中学校	
	大阪市立原原中学校	
	枚方市立蹴踏中学校	
	枚方市立第四中学校	
	枚方市立長尾西中学校	
	枚方市立長尾西中学校	
合計		50

中学生・保護者対象 生徒募集説明会

内容：2019（平成31）年度入試説明・施設見学・入試相談 ※予約不要
会場：大阪電気通信大学高等学校 体育館1階



2019（平成31）年度 高等学校入試概要

学 科	普通科	電子工業科
	進学コース 健康スポーツコース	理数コース 電子情報コース 医療電子コース デジタルゲーム開発コース
募集人員	160名 (進学コース120名・健康スポーツコース40名)	160名 (理数コース40名・電子総合コース120名)
出願期間	1月23日(水)～1月31日(木)午前9時から午後4時まで(土・日は受付不可) ※郵送の場合は1月31日(木)必着 ※提出先：高等学校事務部	
試験日	●筆記試験(国・数・英)：2月9日(土) 午前9時～(集合午前8時50分) ●面接試験(受験生のみ)：2月10日(日) ※受験番号により面接時間が異なります。	
合格発表	2月12日(火) 郵送	

- ◎試験科目：国語、数学、英語 各100点、50分
- ◎両科とも男女共学
- ◎普通科の「健康スポーツコース」は1年次より1クラス(40人)募集。
- ◎電子工業科の「理数コース」は1年次より1クラス(40人)募集。それ以外のコースは一括募集し、2年次にコース分けを行う。



2017年度 決算報告

学校法人大阪電気通信大学の2017年度決算は、監査法人及び監事の監査を終え、5月26日の評議員会の諮問を経て、理事会にて承認されました。学校法人会計基準では、計算書類として「資金収支計算書」、「事業活動収支計算書」、「貸借対照表」、並びに、資金収支計算書を活動区分毎に区分けし、企業会計におけるキャッシュフロー計算書に位置付けられる「活動区分資金収支計算書」を作成することとなっています。「活動区分資金収支計算書」や、詳細な決算報告、事業報告の内容につきましては、当学校法人ホームページ(https://www.osakac.ac.jp/corp/)内の学園情報に掲載しております。2017年度の資金収支計算書と事業活動収支計算書、並びに貸借対照表は次の通りです。

(1) 資金収支計算書

資金収支計算書(表1)は、学校法人の毎会計年度における、教育研究その他の諸活動に伴い発生する全ての収入、支出の内容及び支払資金の顛末を明らかにしたものです。2017年度における資金収入は138億3,285万円となりました。これに対し資金支出は129億4,734万円で、当年度の資金収支差額は8億8,550万円の収入超過となり、これに前年度の繰越金61億1,114万円を加え、翌年度への繰越金は69億9,664万円となりました。主な内容は、次の通りです。

●収入の部

1. 学生生徒等納付金収入

大学では、授業料収入等の減少により、納付金全体で、前年度より1億7,448万円の減収。高校では、新入生の増加により、納付金全体で、前年度より62万円の増収

2. 手数料収入

大部分は入学検定料。その他手数料もあわせて前年度より2,119万円の増収

3. 寄付金収入

前年度より1,391万円の減収

4. 補助金収入

国及び大阪府等からの補助金。このうち経常費補助金は8億9,923万円で、その他の補助金も含め前年度より7,963万円の減収

5. 付随事業・収益事業収入

主として大学の研究受託収入(36件)

6. 雑収入

主として退職者に対する私学退職金財団からの交付金や施設設備利用料

7. 前受金収入

2017年度末までに2018年度入学生から受領した入学金・授業料等

8. その他の収入

前年度の未収入金の入金額、退職給与引当特定資産の取り崩しによる繰入額、学外諸団体からの預り金の受け入れ等

9. 資金収入調整勘定

期末の未収入金と前期末の前受金。現金収受が翌年度あるいは前年度に行われ、当年度に資金が入金されないで控除

●支出の部

1. 人件費支出

教職員の給与・退職金。当年度は、全体として1億4,210万円の減額

2. 教育研究経費・管理経費支出

教育研究経費は教育及び研究に要した経費で奨学金費、修繕費等。管理経費は、学生生徒募集等に要した諸経費等

3. 施設関係支出

建物・構築物の新築、改修に要する支出。主な支出として、高等学校耐震補強工事(Ⅱ期)費用

4. 設備関係支出

機器、備品、図書等教育研究用設備取得に要した支出。主な支出と

して、大学ネットワーク機器更新費用、四條畷キャンパス10号館AV機器更新費用

5. その他の支出

前年度の未払金の支払い、学外諸団体の預り金の払い出し等

6. 資金支出調整勘定

当年度に計上した諸経費のうち翌年度に支払う金額、または前年度に既に支払った金額。当年度に資金を支出しないので控除

科目	本年度決算額	前年度決算額	増減
学生生徒等納付金収入	7,076,526	7,250,383	△ 173,857
手数料収入	143,060	121,861	21,198
寄付金収入	10,106	24,023	△ 13,917
補助金収入	1,222,697	1,302,332	△ 79,635
資産売却収入	69,381	19,192	50,189
付随事業・収益事業収入	25,973	95,037	△ 69,064
受取利息・配当金収入	140,543	96,644	43,899
雑収入	287,591	270,382	17,208
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	1,415,804	1,246,180	169,624
その他の収入	5,034,420	2,077,062	2,957,357
資金収入調整勘定	△ 1,593,255	△ 1,654,337	61,082
前年度繰越支払資金	6,111,141	5,823,714	287,427
収入の部合計	19,943,992	16,672,479	3,271,513
科目	本年度決算額	前年度決算額	増減
人件費支出	4,557,145	4,699,252	△ 142,106
教育研究経費支出	2,199,728	2,075,833	123,894
管理経費支出	631,429	713,015	△ 81,585
借入金等利息支出	19,705	21,672	△ 1,966
借入金等返済支出	94,430	94,430	0
施設関係支出	818,240	779,172	39,068
設備関係支出	167,904	166,551	1,352
資産運用支出	4,223,415	1,815,869	2,407,545
その他の支出	1,088,804	894,892	193,912
資金支出調整勘定	△ 853,457	△ 699,350	△ 154,106
翌年度繰越支払資金	6,996,646	6,111,141	885,505
支出の部合計	19,943,992	16,672,479	3,271,513

(2) 事業活動収支計算書

事業活動収支計算書(表2)は、当該年度の事業活動収入と事業活動支出の内容を示し、事業活動収支の均衡状態を把握して学園の経営状態を見る重要な計算書です。資金収支計算書では、全ての収入支出を表しており、負債となる借入金や預り金の収入、返済金や払出金等の支出が含まれていますが、事業活動収支計算書ではそれらは含まれません。また、事業活動収入の中の「寄付金」には、資金を伴わない現物寄付が含まれています(資産となる現物寄付の場合は「その他の特別収入」に含まれます)。事業活動支出の部では、支払資金でない「退職給与引当金繰入額」、「減価償却額」及び資産を売却した売却損や廃棄した場合の「資産処分差額」等の科目が含まれています。概要は、次の通りです。

当年度の事業活動収入の合計は、89億4,736万円で前年度より2億5,105万円の減額となりました。次に事業活動支出の合計は、87億322万円で前年度より9,428万円の増額となりました。

結果として、2017年度の基本金組入前当年度収支差額は2億4,414万円の収入超過となり、基本金組入額合計5億8,769万円を控除した当年度収支差額は3億4,355万円の支出超過となりました。

(注)「基本金組入額」とは学校法人が教育研究等諸活動の計画に基づき取得した資産を継続的に保持するために維持すべきものとして、基本金組入前当年度収支差額から組入れた金額であり、組入れ対象資産として次の4つに区分されます。第一号基本金：設立当初に取得した固定資産で教育の用に供されるものの価額又は新たな学校の設置若しくは既設の学校の規模の拡大若しくは教育の充実向上のための固定資産の価額。第二号基本金：新たな学校の設置又は既設の学校の規模の拡大若しくは教育の充実向上のために将来取得する固定資産の取得に充てる金銭その他の資産の額

第三号基本金：基金として継続的に保持し、かつ、運用する金銭その他の資産の額。第四号基本金：恒常的に保持すべき資金として定められた計算により算出された額

2017年度事業活動収支計算比較表(表2) 単位：千円

科目	本年度決算額	前年度決算額	増減
学生生徒等納付金	7,076,526	7,250,383	△ 173,857
手数料	143,060	121,861	21,198
寄付金	21,495	30,541	△ 9,045
経常費等補助金	1,101,983	1,140,730	△ 38,747
付随事業収入	25,973	95,037	△ 69,064
雑収入	287,621	270,591	17,030
教育活動収入計	8,656,660	8,909,146	△ 252,485
人件費	4,478,520	4,584,543	△ 106,023
[うち、退職給与引当金繰入額]	(242,757)	(224,431)	(18,326)
教育研究経費	3,346,623	3,184,025	162,598
[うち、減価償却額]	(1,131,186)	(1,091,025)	(40,161)
管理経費	636,395	726,353	△ 89,957
[うち、減価償却額]	(7,381)	(9,784)	(△ 2,402)
徴収不能額等	0	0	0
教育活動支出計	8,461,539	8,494,921	△ 33,382
教育活動収支差額	195,121	414,225	△ 219,103
受取利息・配当金	140,543	96,644	43,899
その他の教育活動外収入	0	0	0
教育活動外収入計	140,543	96,644	43,899
借入金等利息	19,705	21,672	△ 1,966
その他の教育活動外支出	0	0	0
教育活動外支出計	19,705	21,672	△ 1,966
教育活動外収支差額	120,837	74,972	45,865
経常収支差額	315,959	489,197	△ 173,238
資産売却差額	9,418	0	9,418
その他の特別収入	140,739	192,622	△ 51,883
特別収入計	150,158	192,622	△ 42,464
資産処分差額	221,972	92,344	129,628
その他の特別支出	2	0	2
特別支出計	221,974	92,344	129,630
特別収支差額	△ 71,816	100,278	△ 172,094
基本金組入前当年度収支差額	244,142	589,475	△ 345,333
基本金組入額合計	△ 587,698	△ 623,592	35,893
当年度収支差額	△ 343,556	△ 34,116	△ 309,439

(参考)

科目	本年度決算額	前年度決算額	増減
事業活動収入計	8,947,362	9,198,413	△ 251,050
事業活動支出計	8,703,220	8,608,937	94,282

(3) 貸借対照表

貸借対照表(表3)は、法人の財政状態を表すものです。当年度の資産総額は416億540万円で前年度より4億5,859万円増加、負債の総額は65億1,885万円で前年度より2億1,444万円の増加となりました。その結果、資産の部合計から負債の部合計を控除した法人の純資産の部合計は、350億8,654万円で、前年度より2億4,414万円の増加となりました。

2017年度貸借対照表(表3) 単位：千円

資産の部			負債及び純資産の部		
科目	本年度末	前年度末	科目	本年度末	前年度末
固定資産	34,147,282	34,562,558	負債	6,518,857	6,304,409
有形固定資産	23,910,534	24,228,842	固定負債	3,809,712	3,982,767
特定資産	10,189,553	10,248,495	流動負債	2,709,145	2,321,642
その他の固定資産	47,194	85,221			
			純資産	35,086,545	34,842,402
流動資産	7,458,121	6,584,253	基本金	43,497,200	43,069,795
			繰越収支差額	△ 8,410,655	△ 8,227,392
資産の部合計	41,605,403	41,146,812	負債及び純資産の部合計	41,605,403	41,146,812

2018年度 予算

2018年度の資金収支予算書と事業活動収支予算書は次の通りです。

●資金収支予算書

2018年度の資金収入の合計は102億1,145万円、一方資金支出の合計は95億6,264万円で、6億4,880万円の収入超過となります。当年度は、寝屋川キャンパス新棟工事関連費の支出等を予定しており、翌年度への繰越金は、76億4,545万円の見込みです。

●事業活動収支予算書

経常収支のうち、教育活動における収支差額は2億3,564万円の支出超過、教育活動外における収支差額は5,226万円の収入超過、双方を合わせた経常収支差額が1億8,338万円の支出超過となります。また、特別収支差額は5,196万円の支出超過となり、当年度の予備費として4,500万円計上したことにより、基本金組入前当年度収支差額は2億8,034万円の支出超過となります。結果として、基本金組入額12億4,867万円を控除した当年度収支差額は15億2,902万円の支出超過となる見込みです。

収入の部		2018年度事業活動収支予算書 単位：千円	
科目	予算額	科目	予算額
学生生徒等納付金収入	7,314,733	学生生徒等納付金	7,314,733
手数料収入	113,229	手数料	113,229
寄付金収入	12,325	寄付金	8,270
補助金収入	1,113,491	経常費等補助金	1,087,019
資産売却収入	0	付随事業収入	32,400
付随事業・収益事業収入	32,400	雑収入	117,083
受取利息・配当金収入	70,000	教育活動収入計	8,672,734
雑収入	117,083	人件費	4,664,592
借入金等収入	0	教育研究経費	3,570,064
前受金収入	1,226,255	管理経費	673,722
その他の収入	1,687,510	徴収不能額等	0
資金収入調整勘定	△ 1,475,572	教育活動支出計	8,908,379
前年度繰越支払資金	6,996,646	教育活動収支差額	△ 235,644
収入の部合計	17,208,102	受取利息・配当金	70,000
		その他の教育活動外収入	0
		教育活動外収入計	70,000
		借入金等利息	17,739
		その他の教育活動外支出	0
		教育活動外支出計	17,739
		教育活動外収支差額	52,260
		経常収支差額	△ 183,384
		資産売却差額	0
		その他の特別収入	55,527
		特別収入計	55,527
		資産処分差額	107,490
		その他の特別支出	0
		特別支出計	107,490
		特別収支差額	△ 51,962
		予備費	45,000
		基本金組入前当年度収支差額	△ 280,347
		基本金組入額合計	△ 1,248,672
		当年度収支差額	△ 1,529,020
		人件費支出	4,602,699
		教育研究経費支出	2,443,642
		管理経費支出	666,258
		借入金等利息支出	17,739
		借入金等返済支出	94,430
		施設関係支出	1,045,551
		設備関係支出	192,565
		資産運用支出	100
		その他の支出	1,179,393
		予備費	45,000
		資金支出調整勘定	△ 724,733
		翌年度繰越支払資金	7,645,454
		支出の部合計	17,208,102

Event Notice イベント予告

学内・学外で開催される予定の
イベント情報をお届けします。



第58回大学祭

11/3^土・4^日

▶寝屋川キャンパス

大学祭実行委員会の学生が中心となり、2日間にわたり寝屋川キャンパスで様々な企画を催します。模擬店、展示、ライブなど、楽しいイベントが満載です。

ホームカミングデー

11/3^土

▶寝屋川キャンパス

卒業生の方々に、大学の近況に触れ、恩師や同窓生との旧交を温めていただくイベント「ホームカミングデー」を開催します。

第11回 テクノフェア in ねやがわ

11/4^日 10:30~16:00 (10:00~受付)

▶寝屋川キャンパス・駅前キャンパス

地域の方々を対象に、最先端の科学技術をわかりやすく紹介する人気のイベント「テクノフェアinねやがわ」を今年も開催します。本学ならではの多彩なプログラムが満載!

なわフェス'18

11/25^日

▶四條畷キャンパス

四條畷キャンパスのイベント「なわフェス」では、四條畷キャンパスイベント運営委員会を中心に、ステージ企画やゲーム大会など、趣向を凝らした様々なイベントを行います。

2019年度入試日程

試験種別	募集学部	出願期間	試験日	合否発表日
AO入試	工学部 情報通信工学部 医療福祉工学部 総合情報学部	インターネット出願:9月21日(金)0:00~10月3日(水)20:00 出願書類送付期限:10月3日(水)消印有効	10月13日(土)	10月20日(土)
得意科目セレクト入試		インターネット出願:9月28日(金)0:00~10月10日(水)20:00 出願書類送付期限:10月10日(水)消印有効	10月21日(日)	10月27日(土)
専門学科・総合学科特別入試		インターネット出願:10月25日(木)0:00~11月6日(火)20:00 出願書類送付期限:11月6日(火)消印有効	A日程:11月17日(土) B日程:11月18日(日)	11月27日(火)
公募推薦入試 A・B日程		インターネット出願:11月16日(金)0:00~11月30日(金)20:00 出願書類送付期限:11月30日(金)消印有効	12月9日(日)	12月15日(土)
特待生入試 NEW		インターネット出願:1月7日(月)0:00~1月21日(月)20:00 出願書類送付期限:1月21日(月)消印有効	A日程:1月31日(木) B日程:2月1日(金)	2月9日(土)
前期A・B日程		インターネット出願:2月8日(金)0:00~2月21日(木)20:00 出願書類送付期限:2月21日(木)消印有効	3月2日(土)	3月9日(土)
後期		インターネット出願:1月7日(月)0:00~1月30日(水)20:00 出願書類送付期限:1月31日(木)必着	—	2月13日(水)
前期センター方式		インターネット出願:2月8日(金)0:00~2月25日(月)20:00 出願書類送付期限:2月26日(火)必着	—	3月9日(土)
後期センター方式				

資料請求・お問い合わせ TEL:072-813-7374 FAX:072-825-4589 HP:http://www.osakac.ac.jp/ E-mail:nyushi@osakac.ac.jp

〒572-8530 寝屋川市初町18-8 大阪電気通信大学 入試部 ※詳しくは、入学試験要項にてご確認ください。

寄附者芳名録

寄附金募集に対し、多数の方々よりお申込みをいただき、心より御礼申し上げます。
ご寄附をお申込みいただきました皆様への感謝の意を込めまして、ここにご芳名を掲載させていただきます。

- ご芳名は、2018年4月1日から2018年7月31日までにご寄附のお申込をいただいた方(個人)を掲載いたしました。
- お名前公表を希望されない方につきましては掲載しておりません。

寄附金に関するお問い合わせ先
法人事務局 記念募金推進室
TEL:072-824-1131(代) FAX:072-824-1141
E-mail:bokin@osakac.ac.jp

個人・法人寄附			
乾 二郎兵衛	川口 雅之	中村 文俊	村上 博彦
炭木 陽光	倉地 宏幸	野村 恭三	山本 剛宏
上垣 公明	佐近 昌俊	早野 秀樹	吉川 隆章
植田 一正	住友 雄太	平田 賢之	渡邊 郁
魚井 宏高	田中 孝徳	不破 信勝	
江川久美子	土居 元紀	堀井 大輔	
河合 利幸	中田 亮生	宮崎 智彦	(五十音順、敬称略)

合計 ¥13,130,907
(2013年2月から2018年7月31日まで)